

こんにちは！
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は「**破碎脱水残渣の発酵分解試験スタート**」「**夏の野菜果物**」の記事をお届けします。

梅雨入り以降、まったくの**カラ梅雨**でしたが、やっと**前線**が停滞してきました。農家さんにとっては**ひと安心**。(担当:齊藤)

破碎脱水残渣の発酵分解試験スタート

先月号でお伝えしたとおり、**破碎脱水残渣の減量率測定**が始まりました。



破碎残渣 200kg/日デモ機



①**投入前に計量**
減量率を測定するためには**お客様**による**投入量の計測**が必須です。



②**投入開始**
1日の投入量を**3分割**し投入します。(槽内の発酵温度保持の為)

あとは**機器**が**24時間**、**微生物分解**を進めます。

③**残渣取り出し・計量**
投入7日後の槽内。
1,243kgの破碎残渣が
191kgまで減量。



まだ、一週目。
さらに試験は続きます

夏の野菜・果物



6月初旬 祖父江町を移動していると**銀杏畑**。学校や神社などで**イチョウ**は見かけますが**銀杏**収穫のため低く管理された畑です。三河では見ない光景です。もう**銀杏**が付き始めています。



夏野菜といえば、やっぱり**きゅうり**。写真は津島市の露地の畑です。(6月初旬)

きゅうりは、栄養と水分さえあれば1日、3~4cm伸びます。毎日収穫しないと、一気に30cmのおぼけきゅうりの完成です。

あいさんハウス(障がい者就労継続センター)様で、**めぐりん菜**堆肥を使い、初めての**落花生**作りが始まりました。

近隣の農家の指導も受け、高収益を目指します。**収穫時期**は長期戦になる10月。しっかり管理され順調に育っています。

